

テーマ 防 災

2016年4月には熊本地震、2017年7月には九州北部豪雨といった大規模災害が発生し、記憶に新しいところです。最近では、身近なこととして男女共同参画の視点を取り入れた防災をテーマに学ぶ機会が増えています

被災時の男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮するために、日頃から男女共同参画の視点を取り入れた防災（復興）について、地域で考えておきましょう。

【講演】

タイトル・形式・主催者・参加人数・開催日	講師名	内 容
大災害が起きたとき、本当に命と健康、守れますか？～高齢者・障がい者・子ども・女性などの視点から～ 【講演】 アミカス 172人（女143・男29） 2017年10月20日	浅野 幸子 （減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）	大災害が起きたとき、命と健康を守るために必要な地域の防災活動について学んだ。
熊本地震から自助共助を考える 【講演】 姪浜（校） 14人（女14・男－） 2017年2月21日	末吉 信子 （西あんあんリーダー会）	地震災害時に男女協が果たすべき役割や地元中学生への期待など、共助、公助について学んだ。
熊本地震を体験して 【講演】 奈多（校） 40人（女24・男16） 2016年6月7日	榎本 武士 （防災士）	熊本地震を体験した校区住民で防災士会の会長による講演会。写真を見ながら避難所や自宅付近での住民同士の集団活動生活の様子について講演。
女性が関わる自主防災 【講演】 笹松（校） 40人（女15・男25） 2017年3月24日	十時 裕 （共創による地域づくりアドバイザー）	災害が起こったときの女性の役割や、地域（隣近所）の繋がりの大切さを学んだ。
パパママ親子ミニ防災教室 【講演】 福重（校） 50人（女30・男20） 2016年11月12日	富山 万里子 （NPO法人男女・子育て環境改善研究所）	日常の危機意識や非常食の備えなど必要なものについては、各団体リーダーとの連携が必要だということ学んだ講演。
地域のチカラ・防災 【講演】 赤坂（校） 58人（女41・男17） 2017年2月8日	中嶋 玲子 （元福岡県男女共同参画センター・あすばる館長）	男女で共に創り出す活力ある地域について、人権尊重、地域防災の流れで、なぜ男女共同参画が必要かを講演。

タイトル・形式・主催者・参加人数・開催日	講師名	内容
熊本地震で地域コミュニティを考える 【講演】 奈良屋（校） 42人（女30・男12） 2016年8月4日	濱砂 清 （一般社団法人 SINK a 代表 者）	地震は一瞬の出来事であるが、特に地震後の地域の繋がりはなかなか難しい。日頃からの関わりや地域の安心について学んだ。
防災と男女共同参画 ～熊本地震から学ぶ～ 【講演】 壱岐南（公） 37人（女19・男18） 2017年1月31日	藤井 宥貴子 （熊本市男女共同 参画センター はあもにい館長）	熊本地震発災直後の「はあもにい」の取り組みについて、性被害防止の啓発、見えてきた課題、今後の対策などについて講演。

【 】内は形式、(校)は校区男女共同参画推進組織、(公)は公民館の略。

【ワークショップ】

タイトル・形式・主催者・参加人数・開催日	講師名	内容
男女双方の視点から災害時避難所 運営ワークショップ 【ワークショップ】 東花畑（校） 42人（女35・男7） 2016年7月9日	佐藤 倫子 （Edu代表、 福岡教育大学 非常勤講師）	災害が起こり東花畑公民館が避難所になったとき、住民が運営に関わるとしたらどうするかをグループワークした。
災害時における男女共同参画の役割とは 【ワークショップ】 平尾（校） 15人（女12・男3） 2016年10月15日	十時 裕 （共創による地域 づくりアドバイザー）	校区の安全安心（高齢者支援・自主防災）について、熊本地震から見えてきた災害弱者への支援についてグループワークした。

【 】内は形式、(校)は校区男女共同参画推進組織、(公)は公民館の略。

コラム 男女共同参画の視点に立った防災⇒あんあんリーダー会を活用して

2011年3月に発生した東日本大震災以降、防災における男女共同参画の視点が注目されています。震災後の避難所づくりには女性の意見が反映されず、女性用の物資の配布や授乳スペースの確保などに関して困難を抱える女性が多く見受けられました。その原因として、避難所運営をはじめとする様々な意思決定の場に女性が少なかったことがあげられており、災害時の意思決定に女性が多く参画できるように平常時からの男女共同参画が求められています。

たとえば 校区防災担当組織との共同事業

内容：HUG（避難所運営ゲーム。避難所を運営する立場になったと想定した模擬体験）を校区研修として実施。最後に避難所運営における男女共同参画の視点の必要性について外部講師または男女共同参画協議会（部会）委員がまとめをする。